

エクストリームチャレンジ in 四国の右下2010

フレンドシップクラス フレンドシップカテゴリー優勝チームコメント

泡男・麺娘の同行二人 後藤田 中 さん

以前から、アドベンチャーレースに興味を持ち、本大会もいつかは出場したいと注目しておりました。しかし、いまひとつ背中を押されるものが自分には、ありませんでした。その理由は、過酷な大会に対する経験不足、そして、それを志す仲間の不在です。

そんな中、今年度より、フレンドシップクラスが新設され、いわゆるアスリートから、家族、親子まで誰でも楽しく参加できる大会へと生まれ変わったように感じました。

そこで、これを機に、来春に結婚を予定しているフィアンセと一緒に初挑戦しました。私は地元徳島、彼女は香川在住です。彼女は、トレイルラン等のアウトドアスポーツが大好きなので、地元徳島の自然を知ってもらいつつ、楽しんでもらう絶好のチャンスだと考えたのです！

シーカヤックなど、日頃体験できないアクティビティに挑戦すること自体、本大会の魅力です。チェックポイントは、地元の自然、文化と結びついていて、自分の知らない道、街、そして人に目を向けることもできました。一度の大会で、色んな体験ができることは、他のスポーツイベントにない、アドベンチャーならではのエンターテイメント要素だと思います。でも、まさか鉄道の時刻表を気にしながらチェックポイントを回り、エリア間の移動で列車を使うなど...想像していませんでした(笑)

これに加え、チームで相談しながら、課題を一つずつこなし、チームの絆が深まるのが新しい感覚でしょう。平日頃会えるのなら、まだしも、我々のような時々会える間柄なら、きっと貴重に感じるはずです。アクティビティを通して、パートナーとの絆が今まで以上に深まりました。

体調にあわせてお互いの荷物量(負荷)を調節したり、自分の考えを正確に、わかりやすい言葉で伝えるということも競技を通して実践できました。そして、その結果が優勝なんて最高です！

結婚を前に、良い思い出にさせていただきました！

大会関係者の皆さん、海陽町の皆さん、ボランティアスタッフの皆さん、企画していただいたエクストレモの我が部乱さん本当にありがとうございます！

大会の様子を知りたい方は、是非、私のブログ記事も是非見て下さい(^^)

参加記を紹介させていただいております↓

<http://awarun.sblo.jp/article/41670299.html>

フレンドシップクラス ファミリーカテゴリー準優勝チームコメント

Teamひめさくら 近藤 敬子 さん

今回初めて参加させていただきました。構成は父・母・子供(小4)の三名です。

申し込み際に フレンドシップクラスは「公園の中での宝探し」程度だろうというイメージでしたが、実際にはスケールの大きいオリエンテーリングでした。

前日の説明会で本格的なコースの映像や地図を用いてのコンパスの使い方の講習を受けて、本当に良かったと思いました。いきなりだときっと戸惑ってました。

みんなでカウントダウンをしてのスタートは気分も高まり、集団と共に走り出しました。5分もたたないうちにあっさり歩き始めた私達に他の参加者の方が「頑張れ〜！」と追い越しながら声をかけてくれました。とても嬉しかったです。

CPもそれぞれ考えられていてとても楽しめました。子供は林の中でのスラックラインとシーカヤックが特に楽しかったといっています。主人はフリスビーと丸太切りが上手く出来たと自慢しています。

また来年も参加したいと思います。それからレースの途中で応援していただいた地元の人たちに「ありがとう！」